

2025年5月27日

ALS 治療薬「ラジカヴァ」について オーストラリアでの販売開始

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：辻村明広、以下「田辺三菱製薬」）は、筋萎縮性側索硬化症（Amyotrophic Lateral Sclerosis：以下「ALS」）治療薬である「ラジカヴァ」（一般名：エダラボン）の点滴静注製剤（日本製品名：「ラジカット[®]注 30mg」）について、オーストラリアにおける販売権を付与した Teva Pharma Australia Pty Ltd.（テバ ファーマ オーストラリア）が5月1日に販売を開始しましたのでお知らせします。

ラジカヴァは田辺三菱製薬が創製したフリーラジカル消去剤であり、ALSの病態で上昇するフリーラジカルを消去して運動神経を酸化ストレスから保護し、筋力低下、筋萎縮の進行を遅らせる効果を有すると考えられています。

田辺三菱製薬は、ラジカヴァの価値最大化に向けて、展開国の拡大を図るとともに、新規投与経路として経口剤の開発を進めています。本剤は2015年6月に「ALSにおける機能障害の進行抑制」を効能効果として日本で承認された後、韓国、米国、カナダ、スイス、インドネシア、タイ、マレーシアおよびブラジルの9か国で承認を取得し上市しています。

田辺三菱製薬は、これからもより多くのALS患者さんにラジカヴァを提供できるよう努めてまいります。

お問い合わせ先 田辺三菱製薬株式会社 CEO オフィス PR グループ TEL: 06-6205-5119
--

■ Teva Pharma Australia Pty Ltd.（テバ ファーマ オーストラリア）
テバ ファーマ オーストラリアはテバファーマインダストリーの子会社です。テバは、世界中の患者さんの生活を向上させるために、品質の高い医薬品と革新的な医療ソリューションを提供することに焦点を当てたグローバル製薬企業のリーダーです。